

研究タイトル:

建築物の維持管理技術の高度化



氏名:	毛利 聡 MOHRI Satoshi	E-mail:	s.mouri@maizuru-ct.ac.jp
職名:	准教授	学位:	博士(工学)
所属学会・協会:	日本建築学会, 日本コンクリート工学会		
キーワード:	コンクリート, 建築材料施工, 補修, 改修, 維持管理, 耐久性評価, 材料・構工法開発		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート系構造・仕上げ部材の性能評価および実験的開発 ・ 歴史的建造物を含む既存構造物の調査、健全度評価 ・ 建築材料の各強度試験 ・ コンクリート工事に関する教育カリキュラムの開発 		

研究内容: 建築部材の耐久性に関する実験的検討

わが国ではストックされた既存構造物の維持管理が問題となっています。限られた資源や資本で既存構造物を維持管理し、安全・安心を維持していくことが求められています。

本研究室では主にコンクリート系の構造・仕上げ部材を対象とし、部材の耐久性評価、補修工法や診断技術の開発や性能評価に関する研究に取り組んでいます。

建築部材や補修を施した部材の耐久性に関して、明確な性能基準やその評価手法が確立されていない現状を踏まえて、既往の手法を用いた性能評価だけでなくより合理的な評価技術の開発にも取り組んでいます。

現在は、RC 部材に施工された仕上げモルタルやタイルと下地との接着一体性の促進劣化手法の開発や、補修・改修されたコンクリート部材の耐久性評価について実験的に研究しています。

また、コンクリート構造物の品質確保を目的とした施工手法に関する研究も行っており、関連してコンクリート工事の教育カリキュラムの開発と実施を iMec(社会基盤メンテナンス教育センター)にて行っています。



コンクリート工事教育カリキュラム

(行政職員, 学生, 新規入職者を対象に RC 部材の施工を体験)



あと施工アンカーが打設されたコンクリート

試験体の促進中性化試験

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	
1000kN 万能試験機・UH-1000KN(島津製作所)	
コンクリート曲げ強度試験装置(マルイ)	
促進中性化試験装置・MIT-639-3-03(マルイ)	
100L 強制攪拌型コンクリートミキサー・MIC-109-0-52(マルイ)	